

研究員 の眼

サマージャンボ 2023 どう狙う 100万円狙いのジャンボミニをどう組み合わせるか?

保険研究部 主席研究員 篠原 拓也
(03)3512-1823 tshino@nli-research.co.jp

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、各地でお祭りやさまざまなイベントが再開されている。海外からの旅行客の受け入れも急拡大しており、観光地では大変な賑わいを見せている。

ただ、本格的な夏の到来を前に、沖縄県では感染者数が急増しており、鹿児島県、宮崎県、熊本県などでも感染者数の増加が見られる。

全国的にも、感染の拡大は徐々に進みつつある。専門家は、流行の「第9波」が始まった可能性を指摘しており、人流が増す夏休みにも、引き続き、感染対策を心がけることが必要としている。

5類感染症に移行したとはいえ、コロナ禍が終わったわけではない。注目度が低下しているうちに、静かに感染拡大が進んでしまうような事態は、避けなくてはならないだろう。

そんななか、今年も、サマージャンボ宝くじの発売時期がやってきた。最高当せん金は、1等・前後賞合わせて7億円と、ジャンボ宝くじのなかでは、年末ジャンボに次ぐ高額となっている。今回の宝くじでは、ジャンボミニで特徴的な変更が行われている。その変更点を見ながら、今年はどう狙うべきか、少し考えてみよう。

◆ サマージャンボは、シンプルに超高額の7億円狙い

サマージャンボ宝くじには、他のジャンボ宝くじと同様、「ジャンボ」と「ジャンボミニ」の2つがある。今回、「1等・前後賞合わせて7億円」のうたい文句で発売されるのは、サマージャンボだ。一方、サマージャンボミニの当せん金は、1等・前後賞合わせて3000万円となっている。

まず、サマージャンボから見ていこう。

実は、サマージャンボは、当せん金や当せん確率が、昨年のもので全く同じ内容となっている。昨年、1000万円や100万円の中間的な高額当せん金をやめて、シンプル化が行われた。つまり、超高額当せんとして、1等・前後賞合わせて7億円をシンプルに狙う形に変更されたわけだが、その形が、今年もそのまま維持された格好だ。

また、くじの当せん金をよく見ると、2等5万円、3等1万円といった、比較的少額の当せんを高確率で目指す仕組みも残されている。当せん確率をもとに計算してみると、平均的には、981枚のくじを購入すれば、3等1万円以上が当たることになる。

その際、4等と5等からも、平均的に5万6000円以上の当せん金が期待できる。合わせると、6万6000円以上の受け取りとなる。結構な当せん金額だ。

ただし、そのためには、くじの購入に29万4300円が必要となるので、注意が必要だ。

サマージャンボは、とにかく単純明快に7億円の高額当せんを狙う——「超高額当せんのドキドキ感を楽しむためのくじ」といえるだろう。

サマージャンボ

(円)

	当せん金	当せん確率	平均受取額
1等	500,000,000	0.00001%	50
1等の前後賞	100,000,000	0.00002%	20
1等の組違い賞	100,000	0.00099%	0.99
2等	50,000	0.001%	0.5
3等	10,000	0.1%	10
4等	3,000	1%	30
5等	300	10%	30
合計			141.49

◆ サマージャンボミニは、当せん金100万円の2等を新設

いっぽう、サマージャンボミニはどうか。

サマージャンボミニでは、昨年のものでいくつか変更が行われている。主な変更点は、つぎの4つにまとめられる。

(サマージャンボミニの主な変更点)

- (1) 1等の当せん金を3000万円から2000万円に引き下げるとともに、1等の前後賞(当せん金500万円)を設け、1等・前後賞合わせて3000万円とした。
 - (2) 当せん金100万円の2等(1ユニット(くじ1000万枚)あたりの本数は700本)を新設した。
 - (3) 昨年、当せん金1万円だった2等が3等となり、当せん金が3000円に引き下げられた。
(1ユニットあたりの本数は10万本)
 - (4) これらの結果、1ユニットあたりの当せん本数は110万4本から110万712本に増加
- ※ なお、1枚300円に対する当せん金の平均受取額は、142円のまま変わらず

つまり、まず(1)で、当せん金の合計は3000万円のままで、1等を1等・前後賞に組み替えた。そして、(3)で昨年の1万円の当せん金を3000円に引き下げるとともに、(2)でその差額をもとに、当せん金100万円の2等を新設したわけだ。

この2等100万円は、サマージャンボミニとしては、昨年も、一昨年もなかったものであり、今回の特徴的な変更と言えるだろう。

これにより、100万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1ユニット(1000万枚)あたり712本となっている。サマージャンボミニは、当せん金3000万円の1等・前後賞を狙いつつも、100万円の高額当せんに軸足を置いた、「高確率で高額当せんのワクワク感を味わうためのくじ」と位置づけられる。

サマージャンボミニ

(円)

	当せん金	当せん確率	平均受取額
1等	20,000,000	0.00004%	8
1等の前後賞	5,000,000	0.00008%	4
2等	1,000,000	0.007%	70
3等	3,000	1%	30
4等	300	10%	30
合計			142

◆ サマージャンボミニは、高額当せんを狙うためのくじに

今回のサマージャンボ宝くじは、ジャンボミニでは、2等100万円が新設された点が特徴的だ。

これは、平均的には、1万4045枚のくじを購入すれば、1等、1等の前後賞、2等といった100万円以上の高額当せんに当たることを意味する。

その際、3等と4等からは、平均的に84万円以上の当せん金が期待できる。これらを合わせると、184万円以上の受け取りとなる。

ただし、そのためには、くじの購入に421万3500円が必要となるので、注意が必要だ。

それでは、サマージャンボミニに100万円という高額当せんが設けられたことを、どう捉えたらよいただろうか。当せん金のゾーン別に、少し整理してみよう。

- ・まず、5億円の超高額は、サマージャンボで狙う。
- ・次に、3000万円や100万円の高額ゾーンは、サマージャンボミニの出番だ。
- ・そして、5万円や1万円の比較的少額を高確率で狙うゾーンは、再びサマージャンボがその役目を担う。

こんな形で、2つのくじの間で、当せん金ゾーンの棲み分けが行われたと捉えることができる。

こう見ていくと、今回のサマージャンボミニは、もはや「ミニ」ではない。むしろ、3000万円や100万円といった高額当せんを狙うためのくじ、と見るべきだろう。

◆ サマージャンボミニで2等当せん金100万円が新設された意味

繰り返しになるが、今回のサマージャンボ宝くじは、ジャンボミニで2等100万円が新設された点が特徴的だ。この理由について、少し筆者の考えを述べておきたい。

通常、ジャンボ宝くじでは億円単位の超高額当せんと、数万円の比較的少額の当せんの上に、100万円の高額当せんの等級が設けられている。

実際に、今年5～6月に発売されたドリームジャンボ、2～3月に発売されたバレンタインジャンボ、昨年発売された年末ジャンボでは、いずれもジャンボの3等、ジャンボミニの2等として、当せん金100万円の等級が設定されていた。

100万円という金額は、平均的な給与所得者にとっては数カ月分の月給に相当する。個人事業主にとっては、コロナ禍の初期に受け取ることのできた「持続化給付金」の上限額でもある。年金生活者にとっては、今年度の老齢基礎年金(満額)である79.5万円を優に超える水準となる。

モノもサービスも、さまざまな物価が上昇している昨今の情勢を踏まえれば、100万円の当せんは、日々の生活に大きなプラスとなるはずだ。

今回の当せん金100万円の新設には、超高額でも比較的少額でもない、通常の高額当せんの狙いをジャンボミニの機能として持たせる。そして、ジャンボミニで100万円が当せんした人には、日々の生活に少しだけ余裕や潤いを味わってもらい——そんな意味が込められているものと考えられる。

◆ 2つのくじをもとに、当せんへの期待を膨らませる

ジャンボ宝くじを買うときには、「高額当せんのドキドキ感」と、「高確率当せんのワクワク感」の2つの楽しみ方があるはずだ。今回、高額当せんを、超高額当せん、中間的な高額当せんの2つに分けて、2つのくじが担う——それが、今回のサマージャンボ宝くじといえる。

今回、高額当せんを、7億円の超高額当せん、3000万円や100万円の高額当せんの2つに分けて、それぞれを2つのくじが担う。それが今回のサマージャンボ宝くじの構図といえる。

もちろん、この「高額当せんのドキドキ感」と「高確率当せんのワクワク感」をどう組み合わせるか、やり方は人それぞれだ。

—「サマージャンボで、7億円の大きな夢を見るか？」

—「サマージャンボミニで、100万円以上の高額当せんを狙うか？」

—「サマージャンボで、5万円や1万円以上の高確率当せんを狙うか？」

—「ジャンボとジャンボミニのくじをどう組み合わせ、何枚ずつ買うことにするか？」

いろいろ考えているうちに、ドキドキ感やワクワク感を味わうことができれば、幸せな時間を過ごすことができる。この段階で、すでに宝くじを堪能することができたといえるかもしれない。

今回のサマージャンボ宝くじの発売期間は7月4日(火)から8月4日(金)までで、抽せん日は8月18日(金)に行われる。購入を考えるための時間はたっぷりある。アフターコロナもしくはウィズコロナの夏の楽しみの1つとして、宝くじを考えてみるのもよいと思われるが、いかがだろうか。

(本稿をまとめるにあたり、参照した Web サイト)

「宝くじ公式サイト」(全国都道府県及び全指定都市)

<https://www.takarakuji-official.jp/>